

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公園維持管理				整理番号	639		枝番号			
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221902		連絡先電話番号	3584		昨年度整理番号	656	
係名		公園整備係				上位施策名			No			
予算事業名		公園維持管理		コード	62700		公園づくり			13		
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		32年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 都市公園法 (2) 杉並区立公園条例 (3)							
	区立公園(296園)											
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		区立公園施設の機能を維持するため、施設の補修・維持管理・清掃等を行う。		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 公園の持つ機能を維持することにより、利用者の安全で快適な利用を確保する。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 区立公園管理面積				(1) (代) 要望処理率(要望達成件数 / 要望件数)								
(2) 区民要望件数				(2)								
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		m ²	472,039	473,207	516,665	516,947	524,119				
	活動指標(2)		件	1,594	1,369		1,559					
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100.0			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	466,808	470,154	505,225	489,669	528,348	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	320,776	361,122	410,717	400,114	440,658				
	職員数(常勤 非常勤)		人	33.08 44.80	32.50 43.80	33.55 38.80	34.07 40.76	33.62 39.87				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	300,466	292,305	305,305	310,037	305,942				
		非常勤職員分	千円	131,488	120,844	111,744	117,389	114,826				
	総事業費 ++		千円	898,762	883,303	922,274	917,095	949,116				
	単位あたりコスト ÷		円	1,904	1,867	1,785	1,774	1,811				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0		
差引:一般財源 -		千円	898,762	883,303	922,274	917,095	949,116					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.1	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	96.9	地域ブロック方式による園地清掃を全域に拡大し、清掃経費を削減した。しかし一方、樹木管理委託費の増額と、柏の宮公園の開園により、全体としては増額した。				
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成15年4月に策定した「杉並区公園維持管理指針」に近づける様、16年度に樹木管理委託の予算を増額し、区民ニーズに対応している。また、17年度には専門業者による遊具等の点検委託と、安全対策に重点を置いた施設改修を新たに予算計上し、安全安心な公園の維持管理を図っていく。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始から、着実に公園数が増加し、16年度末現在296園開設している。一方、畑や屋敷林等緑の減少が進む中、公園は区民にとって身近な緑と触れ合うことのできる憩いの場になっている。このため、公園に対する要望も多く、施設の良好な維持管理、安全対策等迅速かつ的確な対応が求められている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	緑のオープンスペースを確保して欲しいとの要望は多いが、利用者からはゴミの不法投棄、夜間利用による騒音、路上生活者による不正利用等の苦情も多く寄せられている。また、近隣住民の方からは、樹木の剪定及び落ち葉の清掃についての要望が多く寄せられている。
	今後の予測	区民の地域活動への意識が高まり、公園においても区と区民の協働による維持管理は一層進んでいく。さらに安全で快適な公園が求められる中、地域の名所となる公園もつくられ、公園維持管理の多様性、質の向上が求められる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:公園は都市環境の改善、防災、景観、健康・レクリエーションなどの機能を持ち、これを適正に維持管理することにより、機能を最大限発揮する。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:公園の維持管理は区が主体的に行うものの、区と区民等の役割分担を明確に行い、地域住民による自主的な維持管理活動の支援を行う。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益の対象が不特定多数の区民であり、公園の維持管理は区の責務である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:公園施設の安全・快適の維持管理であり、必要なコストである。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:区立公園を同等に安全で快適な管理を行うためには、各々の役割分担を明確にし、区が主体的に行う必要がある。しかし清掃等の維持管理は、NPO等への委託や平成16年度実施の「すぎなみ公園育て組」等、地域住民による自主的な公園等の美化活動を区が支援し、より地域に愛され親しまれる公園等の創出を目指す。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 公園の維持管理は区が主体的に行うものの、区と区民等の役割分担を明確に行い、「すぎなみ公園育て組」等の地域住民による自主的な維持管理活動を支援する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区立公園の安全性・快適性の確保について、15年度策定した「杉並区公園維持管理指針」を地域社会の変化に合わせ適宜見直し、より計画的かつ区民ニーズに合った維持管理を行うとともに、各公園の特色を生かした個々の維持管理マニュアルの整備を目指す。また、16年度実施した「すぎなみ公園育て組(公園等里親制度)」制度により、地域住民による自主的な公園等の美化活動を区が支援する体制が整い、将来的には全区立公園での導入を目指す。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 維持管理に係る経費の圧縮により、十分な維持管理及び補修の実施が難しくなっている。そこで、「維持管理指針」を適宜見直し、区と区民等の役割分担を明確にするとともに、16年度実施の「すぎなみ公園育て組」制度を積極的にPRし、より多くの団体が登録し地域の公園等で自主的な維持管理活動ができるよう支援する。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	17年度に引き続き、安全対策に重点を置いた施設改修を実施する。(仮称)「読書の森公園」の開園による維持管理経費の増が

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		すぎなみ公園育て組み				整理番号	641		枝番号		
担当部課		都市整備部公園緑地課		コード	221901	連絡先電話番号	3587		昨年度整理番号		
係名		公園事業係			上位施策名				No		
予算事業名		公園維持管理			コード	62700		公園づくり			
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		16年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 都市公園法 (2) 杉並区立公園条例 (3) すぎなみ公園育て組(公園等里親制度)実施要綱						
	公園等を区と協働で管理を行える地域の団体(5名以上)										
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		広報による募集、審査を経て「すぎなみ公園育て組」に登録後、団体と協定を結び、区は清掃用具や植栽の管理用具等を提供し、区と地域のボランティアと協働して公園等の管理にあたる。								
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 公園育て組への参加団体数 (2) 公園育て組が活動している公園数									
		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 地域のボランティア団体と区が協働をして、公園や緑地の清掃や植栽の手入れなどの管理を行うことで、公園等の美化を推進し、利用のモラル向上や地域に愛され親しまれる公園や緑地としていく。									
		目標値 19年度 目標値に対する16年度の達成率%									
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		団体数			5	4	15	35	11.4	
	活動指標(2)		公園数			5	4	15	35	11.4	
	成果指標(1)		%			2	1	5	11	9.1	
	成果指標(2)		%								
総事業費・コスト把握	事業費		千円			1,166	701	3,098	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人			0.20	0.20	0.20			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	1,820	1,820	1,820			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	2,986	2,521	4,918			
	単位あたりコスト ÷		円			597,200	630,250	327,867			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	0	0	2,986	2,521	4,918				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	80.0	活動指標(2)の16年度達成率%	80.0	16年度予算執行率%	60.1	参加団体数が予定の5団体に達しなかった。支援資器材が予想よりも少なかった。			
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		新規事業ではないが、関連するもので「花咲かせ隊」事業がある。その事業の内容は、公園や緑地の花壇をボランティアの団体が区の支援を受けて管理する協働事業である。									

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成16年度からの新規事業である。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	まだ始まったばかりの事業のため、区民の認知度は低い。現在活動をしている団体からは、「自分たちである程度自由に公園の手入れができるので楽しい」との声がある。
	今後の予測	「花咲かせ隊」と同様に今後区民の関心が高まり、参加希望者や団体も増えると予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 区民が作る「みどりの都市杉並」の実践事業である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 今以上に成果を上げるためには、参加団体数を増やす必要がある。そうすると支援資器材の提供量が増え、事業費が増加する。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: この事業は、区と区民の協働であり受益者負担を考えるべきではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 「花咲かせ隊」と一体的な運営を行うことである程度のコストダウンができると思われる。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 区民のボランティア団体に公園をある程度管理してもらい、区は、それに必要な資器材等の支援をして、区民と区の協働で親しまれる公園を作っていく。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 具体的な取り組みは上記と同じである。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「すぎなみ公園育て組」と「花咲かせ隊」とを効果的に結びつけ、この二つの活動を融合することで、効率的に事業を進めていくことができる。また、幅広く公園管理に地域住民と取り組むことができ、区主体の公園管理から住民との協働による、その地域にあった特色ある公園づくりが進められる。具体的には、現在活動をしている「花咲かせ隊」を「すぎなみ公園育て組」に参加するように働きかけを行い、同じ団体が同じ公園で二つの活動を行えるように積極的に進めていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 効率的な執行体制で臨まないと事務経費が増加する恐れがある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	18年度の目標は25団体に増やすことであり、予算は17年度より増となる。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公園の適正利用の指導				整理番号	642		枝番号			
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221901		連絡先電話番号	3587		昨年度整理番号	659	
係名		公園事業係				上位施策名			No			
予算事業名		公園維持管理		コード	62950		公園づくり			13		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 都市公園法 (2) 杉並区立公園条例 (3)							
	不適切な公園利用で迷惑を受けている利用者や近隣住民											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		就業時間中は職員による巡回で注意指導を行う。夜間(20時から6時)は年間の夜間警備を委託し、2人1班体制で苦情の多い公園を中心に巡回警備を行っている。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区立公園を安全で安心な場所とし、利用の促進を図る。							
活動指標名(式)		(1) 夜間警備対象公園 (2) 夜間警備委託日数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 区立公園数に対する警備対象公園数(代) (2) 年間日数に対する警備委託日数の比率								
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		園	38	40	20	20	60	311	6.4		
	活動指標(2)		日	13	45	365	365	365	365	100.0		
	成果指標(1)		%	12	13	6	6	19	100	6.0		
	成果指標(2)		%	3	12	100	100	100	100	100.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,391	3,061	22,260	13,640	26,006	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 警備委託の2人1班の体制を2班に増やしたため予算増となった。 夜間の利用指導は警備委託のみで職員の配置は行っていない。 16年度から職員数が増えた理由は、公園の占使用の許可申請等の事務に従事する職員数が抜けていたため。			
	(内)委託費		千円	1,391	3,061	22,260	13,640	26,006				
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.20	1.20	3.00	3.00	3.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	10,900	10,793	27,300	27,300	27,300				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	12,291	13,854	49,560	40,940	53,306				
	単位あたりコスト ÷		円	323,447	346,350	2,478,000	2,047,000	888,433				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	12,291	13,854	49,560	40,940	53,306					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	61.3					
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		17年度の予算増は、前年度の改革案に沿ってパトロール班を2班に増やし各公園緑地事務所管内に1班ずつ配置したためである。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	開始当初の平成12年度は、夏休み期間の一部を警備委託をしていたが、平成16年度から年間委託とし夜間は毎日(年末年始も含む)巡回パトロールを行っている。区民から苦情のあった公園は当日あるいは翌日から一定期間パトロールが出来るようになり区民の安心感も増している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	夜間巡回しているために、住民にはあまり認識されないが、要望や相談を寄せていただいた住民の方からは、「今日きてくれました安心しました。」との声もあるようになってきた。しかし、中には「もっと頻繁にパトロールをして欲しい。」という言葉もある。
	今後の予測	人の生活が多様化した現在の都市では地域の安心安全を取り戻す為には、区立公園全部を対象とした巡回警備が必要となると思われる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 安全で安心なまちづくりに貢献する事業である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: 警備は人の数で左右される仕事である。このため成果を上げるには事業費の増加が必要となる。 理由または具体的内容: 上記に同じ
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: この事業は、施設管理者の義務的的事业である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容: 他の警備業務と一体化を図る。または、区内を複数の地域に分けそれぞれに警備班を配置する、ただし事業費は増加するが単位コストは下がる。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 警備業務は、やはり専門知識、技術を持った警備会社に委託することが効果的で成果につながる。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 具体的な取り組みは上記と同じである。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 1日で全ての区立公園を巡回することは、事業費の大幅な増加が必要となってくるため、現実的ではない。今考えられる最善の方法は、巡回班をもう1班増やし3班体制とし、苦情のあった公園については随時パトロールをおこなえる機動性を持たせた体制に整えていくことである。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 事業費を増やす必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	現在、311箇所ある公園等の夜間パトロールを2班で巡回しているが、1日に巡回できる公園数は最大で60箇所であり、24時間安心安全のまちづくりには十分ではないと思われる。パトロール班をもう1班増やし、巡回箇所数を増やす。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区立公園事務所の管理運営				整理番号	643		枝番号			
担当部課:都市整備部公園緑地課		コード	221901		連絡先電話番号	3572		昨年度整理番号	660			
係名 管理係					上位施策名					No		
予算事業名		公園緑地事務所維持管理		コード	57100		公園づくり		13			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 都市公園法、杉並区公園条例、同条例施行規則							
	公園緑地事務所(2所)、公園管理事務所(7所)				(2) 杉並区公園緑地事務所処務規程							
	公園緑地事務所及び公園管理事務所の施設・設備維持、事業所における業務運営を補佐する。				(3) 地方自治法第281条第2項							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
公園緑地事務所及び公園管理事務所の施設・設備維持、事業所における業務運営を補佐する。				公園緑地事務所及び公園管理事務所の管理運営を行い、公園維持管理ほか他事業の事業執行を円滑にする。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 対象事務所数				(1)								
(2) 対象管理面積				(2)								
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		園	8	8	9	9	9	9	100.0		
	活動指標(2)		m ²	5,650	5,650	6,505	6,505	6,505	6,505	100.0		
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	21,497	21,879	30,466	23,911	40,834	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	7,487	11,312	9,441	7,992	11,236				
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.30 5.60	1.30 5.60	1.10 4.95	1.24 5.19	1.40 5.08				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	11,808	11,692	10,010	11,284	12,740				
		非常勤職員分	千円	16,436	15,450	14,256	14,947	14,630				
	総事業費 + +		千円	49,741	49,021	54,732	50,142	68,204				
	単位あたりコスト ÷		円	6,217,625	6,127,625	6,081,333	5,571,333	7,578,222				
	財源	受益者負担分	千円	2	142	142	232	388				
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0				
		特定財源計 +	千円	2	142	142	232	388				
差引:一般財源 -		千円	49,739	48,879	54,590	49,910	67,816					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.3	0.3	0.5	0.6					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	78.5	ISO14001の励行による光熱水費の縮減などによる。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		「公園管理事務所にスイッチPCを設置・導入する」という前年度も目標は達成されなかったが、「さざんかねっと」用の端末や専用PCが配属される事務所の出してくるなど、公園管理事務所の情報化は少しずつ進んでいる。柏の宮公園の通年開園に伴い、同公園管理事務所維持管理経費増あり。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区立公園の数 区立公園の総面積 S47年度 46園 160,449,21㎡ H16年度 297園 516,974.33㎡ (S47年は児童交通公園の開園年: 最初の公園管理事務所)
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民から出される意見要望は、公園利用、公園施設利用、公園の管理状態(清掃等含む)に関するものが大半である。職員の接客等については、苦情も見受けられるときがあるが、全体として良好である。7つの公園で毎月利用者アンケートを取っているが、概ね評価は良い。
	今後の予測	公園利用や遊びへの指導を望む声があることから、今後は公園を発信基地にした公園行政や緑化行政における情報提供、催しなどの事業展開の場としての役割が大きくなっていくことが予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 公園緑地事務所及び公園管理事務所は、安全で利用しやすい公園にするための保全活動や、法令等に基づいた適切な利用を進めるための第一線の職場である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: コストの制約のあるなか、現場の状況に応じて、職員が工夫を凝らした対応を常日頃から行なっている。 理由または具体的内容: 職員の日々の対応では限界があり、設備の更新、機器の設置など、年数経過に応じた一定程度の投資的経費の投入が必要。必要最低限の事務機器の配置もそれに当たる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事務所管理人室の光熱水費及び私用電話の使用料という、実費相当額の負担のみであるため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[OA化](具体的内容)	理由または具体的内容: 本庁・公園緑地事務所・公園管理事務所の情報伝達にかかる作業を効率化することにより、事務の生産性を向上させる。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当](具体的内容)	理由: 公園の適切な管理(利用指導を含む)を行うためには行政が主体となって業務を実施すべきである。しかし、設備の点検業務は、資格や技術面で専門業者に委託せざるを得ない。 理由または具体的内容: 公園の適切な管理(維持管理と利用指導等)を行うためには、現状においては、直営職員(嘱託員)を事務所に配置し、緑地事務所・本庁と緊密な連絡をとる必要がある。公的施設の維持に掛かる経費負担(光熱費等)は、施策・事業執行とは異なり、事業体の活動経費そのものである。その他の経費は、主に専門の知識を必要とする設備点検等である。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 現状の取り組みを継続する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 コストを下げる要因として上記に取り上げた「公園管理事務所へのスイッチパソコンの導入」を関係各方面に働きかけ、早期の実現を目指す。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 阻害要因: 回線の敷設及びその維持コストによる経費増。また電子網構築部門の設置計画における施設別設置優先順位等の考え方の違い。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	公園管理事務所の設置を伴うような大規模公園の新規設置、廃止は現在のところ予定がない。また都市整備部内で組織改変の検討が進んでいるが、現段階では公園緑地事務所の取り扱いが未定であるため、現年度とほぼ同様の措置と考えるため。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		花咲かせ隊				整理番号	644		枝番号			
担当部課		都市整備部公園緑地課		コード	221901		連絡先電話番号	3587		昨年度整理番号	661	
係名				公園事業係				上位施策名		No		
予算事業名				公園維持管理				コード		62950		
								公園づくり		13		
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input checked="" type="checkbox"/> 新規		<input type="checkbox"/> 一部新規		<input type="checkbox"/> 臨時・単年度		<input type="checkbox"/> 内部管理	
	対象				<input type="checkbox"/> 個人		<input type="checkbox"/> 世帯		<input checked="" type="checkbox"/> 団体		<input type="checkbox"/> その他	
	公園等で区と協働で花壇づくりを行う地域の団体(5名以上)				(1) 都市公園法 (2) 杉並区立公園条例 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				広報による募集、審査を経て希望の場所を決定する。各「花咲かせ隊」と覚書を締結後、区は花材や用具を提供したりアドバイスをしている。各「花咲かせ隊」は、それぞれ工夫しながら花の植付けや花壇の管理をしている。							
活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 花壇づくりなどの緑化活動を行うことで区立公園がより区民に親しまれると共にその利用を拡大していく。								
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 花咲かせ隊への参加団体数 (2) 花咲かせ隊による花壇数								
				(1) 花咲かせ隊による花壇管理面積 (2) 区立公園に対する花咲かせ隊が参加している公園の割合								
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		団体数	53	68	100	82	100	100	82.0		
	活動指標(2)		花壇数	53	68	100	82	100	100	82.0		
	成果指標(1)		m ²	212	272	400	328	400	400	82.0		
	成果指標(2)		%	18	20	32	22	32	32	68.8		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,534	3,536	5,811	5,137	5,865	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 職員数については平成14年度は公園事業係0.3人、各公園緑地事務所で0.1人ずつ計0.5人。平成15年度は公園事業係で0.4人各公園緑地事務所で0.1人ずつ計0.6人。平成16年度と17年度は公園事業係で0.6人各公園緑地事務所0.1人ずつ計0.8人とする。			
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.50	0.60	0.80	0.80	0.80				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,542	5,396	7,280	7,280	7,280				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	8,076	8,932	13,091	12,417	13,145				
	単位あたりコスト ÷		円	152,377	131,353	130,910	151,427	131,450				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円				2,000			2,000	
		特定財源計 +		千円	0	0	0	2,000			2,000	
差引:一般財源 -		千円	8,076	8,932	13,091	10,417	11,145					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	82.0	活動指標(2)の16年度達成率%	82.0	16年度予算執行率%	88.4	参加団体数が目標の100に達しなかった。 今年度より宝くじ助成金(コミュニティー助成金)を受けられることとなった。				
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成16年度から「すぎなみ公園育て組」を新規に立ち上げた。これは、区立公園をボランティアで清掃、木の剪定、施設の点検、利用指導などをしてもらい、それらに必要な器材を提供し区民と区が協働して公園を維持管理していくという制度である。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度からの事業である。当初は20団体であったが、平成16年3月の時点で82団体と増加してきている。16年度目標の100団体には達しなかったが、毎年着実に増加している。また、複数の団体が同じ公園で活動している状況も発生してきている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	「花咲かせ隊」に対する区民の関心は高いと思われる。「花咲かせ隊」が活動する公園の利用者にも好評であり、活動を紹介するパネル展示でも多くの好意的な意見も頂いている。また、「私も花咲かせ隊に入りたいので紹介をしてくれないか」との問い合わせもある。
	今後の予測	「花咲かせ隊」に対する区民の関心の高まりと共に参加希望者や団体も着実に増えると予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由： 区民がつくる「みどりの都市杉並」の実践事業である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容： 今以上に成果を上げるためには、参加団体数を増やし、さらに、1団体当りの花壇面積を増やす必要がある。そうすると花材等の提供量が増加する。 理由または具体的内容：
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容： この事業は、区と区民の協働であり受益者負担を考慮すべきではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容： 現在は、いつでも花が見られるように1年草を中心に花材を提供している。今後は多年草や種を中心に花材の種類を増やす必要がある。花の無い時期がでてくる問題もある。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由： 理由または具体的内容： 公園緑地等の花壇管理 公園緑地等の花壇管理 区民のボランティア団体に花壇を管理してもらい、区は、それに必要な花材や資器材等の支援をして、区民と区の協働で親しまれる公園を作っていく。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 具体的な取り組みは上記と同じである。

今後の事業のあり方(中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 16年度に立上げた「すぎなみ公園育て組」と「花咲かせ隊」とを効果的に結びつけ、この二つの活動を融合することで、効果的に事業を進めていくことができる。また、幅広く公園管理に地域住民と取り組むことができ、区主体の公園管理から住民との協働による、その地域にあった特色ある公園づくりが進められる。具体的には、現在活動をしている「花咲かせ隊」を「すぎなみ公園育て組」に参加するように働きかけを行い、同じ団体が同じ公園で二つの活動を行えるように積極的に進めていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 効率的な執行体制で臨まないと事務経費が増加する恐れがある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 現在の区の執行体制の中で効果的と想定される100団体程度での活動を推進し区内全域で1000人規模の区民参加を実現していく。 目標値は100団体であるが、実際には100団体を超える可能性があるため18年度の予算見積としては、増とした。	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		遊び場対策			整理番号	645	枝番号		
担当部課名 都市整備部公園緑地課		コード	221902		連絡先電話番号	3584	昨年度整理番号	662	
係名 公園整備係		上位施策名			No				
予算事業名 遊び場対策		コード	63100		公園づくり				13
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区遊び場等の設置及び管理に関する要綱						
	区立遊び場(15ヶ所)		(2) 先行取得用地の活用と管理について						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		(3)						
	先行取得用地、他の公共団体や地主の好意による提供用地を活用し、区立公園の保管施設に位置付け、一時遊び場として開放し、その施設維持管理・清掃などを行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 遊び場の持つ機能を確保し、利用者が安全で快適に利用する。						
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 遊び場管理面積		(1) (代) 要望処理率(要望処理達成件数 / 要望件数)							
(2) 区民要望件数		(2)							
区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標(1)	㎡	13,003	41,052	41,052	41,052	52,767		
	活動指標(2)	件	27	57		58			
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100	100.0	
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	10,012	26,641	26,703	29,502	34,343	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 遊び場73番削除235.77㎡、遊び場101番面積増11950.91㎡	
	(内)委託費	千円	6,105	22,749	22,137	26,115	29,974		
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.62	2.13	3.19	3.32	3.03		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	14,714	19,157	29,029	30,212		27,573
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +	千円	24,726	45,798	55,732	59,714	61,916		
	単位あたりコスト ÷	円	1,902	1,116	1,358	1,455	1,173		
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	24,726	45,798	55,732	59,714	61,916		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	110.5		
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		利用状況、土地の権原、周辺の公園緑地の配置状況等を検討し、1.区立公園化 2.遊び場として存続 3.土地の返還にそれぞれ分け、再整備等の検討をする。なお、17年度は6年に一度の塗装実施年に当たるほか、桃井原っぱ広場の面積増により予算増							

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	公園整備が急がれていた昭和46年当時、公共施設建設などのために先行取得した用地を一時公園の補完施設として活用していた。その後、民有借地などへ拡大してきたが、開設が長期化している。また、現存の遊び場は、本格整備が行われなまま老朽化が進んでいる。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	近くに子供が安心して遊べる場所があるのは好ましい。狭く小さな遊び場に対して、近隣住民からは、騒音などの苦情が多い。また、身近な公園の設置状況が不足している地区においては遊び場から区立公園への変更を求める声もある。
	今後の予測	今後、地主の相続等による返還の申出が多くなると予測される。また、長期化した施設のため、公園化の要望が多くなると考えられる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由: 区立公園も一部地域を除き適正な配置状況に近づいており、区立公園を補完するための遊び場の存在意義が薄れてきている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 維持管理は区が主体的に行うものの、地域住民による自主的な維持管理活動には支援を行う。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 遊び場の利用に受益者負担の考えをとっていない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 遊び場施設の維持管理であり、必要なコストである。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 民有地等は区に貸すことを条件としているため、安全な遊び場としての機能を保つため、設置者である区が主体的に管理する。しかし、清掃等はNPO等への委託や平成16年度実施の「すぎなみ公園育て組」の導入による区民との協働を目指す。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 維持管理は区が主体的に行うものの、区と区民等の役割分担を明確に行い、「すぎなみ公園育て組」等の地域住民による自主的な維持管理活動を支援する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 利用状況、土地の権原、周辺の公園緑地の配置状況等を見ながら、1. 区立公園化 2. 遊び場として存続 3. 土地の返還にそれぞれ分け、再整備等の検討を行う。遊び場として存続する際は、施設の老朽化から安全性、快適性などを確保するため、維持管理のあり方を見直す。また、遊び場は公有地の先行取得用地を除き段階的に縮小する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 民有地の土地取得には、大きな財政負担が伴う。維持管理経費予算の圧縮も要因となる。本事業の実施手法やあり方を検討しながら、計画的な事業推進を行う。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 施設の安全性、快適性などへの区民要望に応えるため、よりきめ細やかな維持管理をする必要がある。同時に、中長期的な視点にたち、今後の課題を検討する。	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		柏の宮公園の整備				整理番号	646		枝番号						
担当部課		都市整備部 公園緑地課		コード	221902		連絡先電話番号	3584		昨年度整理番号	665				
係名				公園整備係				上位施策名		No					
予算事業名				地域公園整備				コード		63250		公園づくり		13	
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		12年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条 (3) 杉並区公園条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				12年度 用地買収。ワークショップによる計画作り。13年度 設計。区民参加による計画作り。14年度 第一期整備工事。区民参加による管理運営方法の検討。15年度 第二期整備工事。区民参加による管理運営の検討推進。16年度 供用開始。										
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 当該年度公園用地取得面積				(1) 当該公園用地取得累計面積											
(2) 公園づくりにおける区民参加型会議の開催数				(2) 区立の防災公園数											
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%						
					計画	実績									
指標	活動指標(1)		m ²	3,983	3,944	3,907	3,907		43,458	9.0					
	活動指標(2)		回	28	36	20	16								
	成果指標(1)		m ²	35,607.10	39,551.97	434,583.30	43,458.30		43,458.30	100.0					
	成果指標(2)		園	3	3	4	4		4	100.0					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,444,584	1,305,027	1,200,032	1,204,317	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成16年10月開園事業終了							
	(内)委託費		千円	28,000	221,378	134,485	137,465								
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.07	2.00	2.50	2.60								
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	18,802	17,988	22,750	23,660					0			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0					0			
	総事業費 ++		千円	1,463,386	1,323,015	1,222,782	1,227,977					0			
	単位あたりコスト ÷		円	367,408	335,450	312,972	314,302								
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円	715,012	686,856	482,500					641,262			
		特定財源計 +		千円	715,012	686,856	482,500					641,262	0		
差引:一般財源 -		千円	748,374	636,159	740,282	586,715	0								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0									
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	80.0	16年度予算執行率%	100.4							
			第二期造成工事16年9月竣工、植栽工事16年6~9月施工、他に茶室部分改修工事9~10月、安全対策工事9~10月施工												
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			開園までに発足した、管理運営についての区民主体による「柏の宮公園管理運営の会」が、開園後「すぎなみ公園育て組」として協定を締結し、本公園の管理運営にかかわっている。												

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	公園の計画づくりから管理運営にいたるまで、区民参加で考える意識が高まった。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	今の魅力ある自然を守って欲しい。 子供から高齢者まで、自由に利用できる公園にして欲しい。 防犯上、安全で、安心して使える公園にして欲しい。
	今後の予測	公園整備は平成16年秋に完了。開園に伴い、区民参加による管理運営も具体的に活動を開始した。今後より地域に根ざした区民との協働による公園管理運営を実現していく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 公園として整備することにより、貴重なみどり・魅力ある自然を守り、引き続き災害時の避難場所を確保でき、さらにはレクリエーションの場を得ることができるため、区民福祉の向上に大きく貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 厳しい財政状況の中、必要最小限の整備を行った。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益の対象が不特定多数の区民であり、地域公園の整備は区の責務であるため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 既存の自然環境や施設を極力活用し、必要最小限の整備を行い、供用を開始した。なお、その後の整備については管理運営をふまえ、段階的に改善を図っていく。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 都市公園の整備は国または地方公共団体が行うべきであり、面積10ha未満の公園整備は区が主体となって実施するものである。ただし、計画づくり、管理運営に対して一般区民、NPO等参加により協働で行うことは推進すべきであり、柏の宮公園の整備においてはワークショップを活用し、区民意見を参考にして事業を行った。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 計画づくり、管理運営に対して一般区民、NPO等参加により協働で行っていく。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どういふかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成16年度で事業が終了した。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		身近な公園整備			整理番号	647		枝番号			
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	210902		連絡先電話番号	昨年度整理番号		666	
係名				公園整備係				上位施策名		No	
予算事業名				ふれあい公園整備		コード	63350		公園づくり		13
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		13年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条 (3) 杉並区立公園条例					
	区立公園										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			区民1人あたり1.5㎡(平成30年)の公園面積を目標に身近な公園を整備していく。 事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 身近に区民が憩いふれあう魅力ある場をつくりだす。							
活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 当該年度に造成した身近な公園数 (2) 当該年度に整備した身近な公園面積								
					(1) 身近な公園整備率 = 設置園数 ÷ 設置目標数 (10公園) (2) 身近な公園取得面積率 = 取得面積 ÷ 取得目標面積 (15,580㎡)						
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		園	2	4	0	0	3			
	活動指標(2)		㎡	245	1,166	255	255	3,455			
	成果指標(1)		%	20	40	0	0	30	70	0.0	
	成果指標(2)		%	2	7	2	2	22	70	2.9	
総事業費・コスト把握	事業費		千円		114,072	8,073	7,623	0	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 公園整備については、身近な公園整備として一本化し代表的予算事業ふれあい公園整備として全体を評価した。17年度指標には東一坂下緑地105.30㎡、桃井提供公園1,561.81㎡の他(仮称)読書の森公園1,787.64㎡を含む。		
	(内)委託費		千円		21,783	8,057	7,623	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人		1.95	1.95	2.00	0.60			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	17,538	17,745	18,200	5,460			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	131,610	25,818	25,823	5,460			
	単位あたりコスト ÷		円	0	32,902,500			1,820,000			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	0	131,610	25,818	25,823	5,460				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%		活動指標(2)の16年度達成率%		100.0	16年度予算執行率%		94.4	
			成田かっぱ公園拡張整備								
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)											

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	「みどりの都市」杉並としては、区民に安全で親しみを持てる公園として、公園を充実していくことが求められている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	空き地や駐車場などの用地を公園として買収してほしいという要望がある。
	今後の予測	余暇の拡大、価値観の多様化、及び生活習慣の変化に伴い、今後、公園施設の必要等に対する要望などが見込まれる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民1人当たりの公園面積を少しでも増やすことができる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 用地買収などが伴う場合がある。また、新規に公園を整備するので事業費がかかる。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益の対象が不特定多数の区民であることや、公園の管理者である区の責務であるため、見直し余地はない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 新たな施設を設置するため、コストを下げる余地はない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 区民が満足できる公園を提供していくのは、施設管理者である区の責務である。ただし、計画づくり、管理運営に対しては一般区民、NPO等の参加により協働で行うことは推進すべきであり、ワークショップ方式等による区民参加での計画づくりを実施している。
	協働等のあるべき姿 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み ワークショップ方式等の区民参加による計画づくりを推進していく。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 身近な公園整備目標は1.5㎡/人(平成30年)であるが、現在、0.62㎡/人程しかなく、今後も拡大していかなければならない。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 用地の確保が財政の面からも難しい状況にある。他のまちづくり事業との連携、公園事業補助の活用等の検討が必要である。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	区民1人当たりの区立公園面積は、杉並区平均で0.99㎡しかなく、充足しているというにはほど遠いため、事業を大幅に拡大していかなければならない。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公園改修				整理番号	648		枝番号			
担当部課		都市整備部公園緑地課		コード	63500		連絡先電話番号	3584		昨年度整理番号	667	
係名				公園整備係				上位施策名		No		
予算事業名				公園改修				コード		63500		
				公園づくり						13		
事業開始年度				○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 都市公園法						
区立公園						(2) 地方自治法第281条						
区立公園						(3) 杉並区立公園条例						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				老朽化した区立公園において、施設などを見直し改修する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
						施設などを見直し改修することにより、区民にとって安全で魅力的な公園にリフレッシュする。						
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 当該年度改修公園個所数						(1) 公園改修率 = 改修公園累計数 ÷ 公園改修予定数 (29公園)						
(2) 改修公園累計数						(2)						
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績						
活動指標(1)		園	2	2	2	2	2					
活動指標(2)		園	4	6	8	8	10	14	57.1			
成果指標(1)		%	13.8	20.7	27.6	27.6	34.5	48.3	57.1			
成果指標(2)												
総事業費・コスト把握		事業費		千円	54,884	29,275	23,703	18,725	28,970	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
		(内)委託費		千円		29,243	23,595	18,641	28,888			
		職員数(常勤 非常勤)		人	1.70	1.20	1.20	1.25	1.45			
		人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	15,441	10,793	10,920	11,375			13,195
			非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
		総事業費 ++		千円	70,325	40,068	34,623	30,100	42,165			
		単位あたりコスト ÷		円	35,162,500	20,034,000	17,311,500	15,050,000	21,082,500			
		財源	受益者負担分		千円							
			国・都等からの支出金		千円							
			特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -			千円	70,325	40,068	34,623	30,100	42,165				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		100.0		活動指標(2)の16年度達成率%		100.0		16年度予算執行率%		
										79.0		
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		公園の改修計画どおり実施した										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	公園を設置してから、かなりの年数が経って老朽化している公園が多い。また、傷んでいる遊具等も多く、部分改修では収まらない公園が増えている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	死角を無くし老朽化した施設を改修するなど、安全安心で、ニーズに対応した快適な公園が望まれている。
	今後の予測	老朽化した公園が大変多く、改修計画の見直し等も含めた事業規模の充実が必要である。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:老朽化した既存施設を見直すなどして、安全性の向上や公園の魅力付けができ、公園のリフレッシュが果たせる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:公園の老朽化に1年で2園の改修ペースでは追いつかない。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益の対象が不特定多数の区民であることや、公園の管理者である区の責務であるため、見直し余地はない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:老朽化した既存施設を見直すなどして、新たな施設を設置するため、コストを下げる余地はない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:老朽化した施設、危険な遊具の改修等が主体のため、施設管理者である区が設計を行い(1,000㎡以上は委託)、工事は委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 今後も施設管理者である区が行うか、設計にあたり区民参加方式を進めていく。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区内の公園は、設置年度が古いものが多く、施設がかなり老朽化している。特に球戯場・複合木製遊具などの主要施設が腐食している公園も多く、子供にとって大変危険であり改修していかなければならない。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 実施計画に基づき、1年に2園づつの改修を予定しているが、老朽化が進み危険度が高い公園については早急な対応が必要である。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特色ある公園づくり				整理番号	649		枝番号			
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221902		連絡先電話番号	3584		昨年度整理番号	669	
係名		公園整備係				上位施策名				No		
予算事業名		公園改修		コード	63500		公園づくり				13	
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条 (3) 杉並区立公園条例							
	区立公園											
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		既存の公園に、ある種の付加価値をつけて、今以上の魅力を引き出すことを目的とする。									事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 公園を特色ある公園として再整備することにより、地域に密着した、より区民に愛され、魅力ある公園を創出する。そして、区民の公園に対する関心を向上させる。
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 当該年度整備した木と花のコースの数		(1) 整備した木と花のコース整備率									= 整備した木と花のコースの累計数 / 整備予定数	
(2) 整備した木と花のコースの数		(2)										
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		コース	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5				
	活動指標(2)		コース	3.0	4.5	6.0	6.0	7.5	10.5	57.1		
	成果指標(1)		%	20	30	40	40	50	70	57.1		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,305	5,565	6,012	5,352	6,491	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円		5,565	6,000	5,352	6,000				
	職員数(常勤 非常勤)		人		0.60	0.60	0.65	0.65				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	5,396	5,460	5,915	5,915				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	4,305	10,961	11,472	11,267	12,406				
	単位あたりコスト ÷		円	2,870,000	7,307,333	7,648,000	7,511,333	8,270,667				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	4,305	10,961	11,472	11,267	12,406					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	89.0	計画通り、木になる巡り会いコース(テーマ:ヤナギの木)を方南・和泉地区で1コース、自然との花し会いコース(テーマ:ハナミズキ・ヤマボウシの木)を15年度の続きとして0.5コース整備した。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)												

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区民ニーズの変化に伴い、既設公園にある種の付加価値をつけて、区民に親しまれる公園として、再整備することが求められている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	あまり使われていない公園がある。今ある貴重なみどりを守って欲しい。 子供だけでなく、高齢者も自由に、また、気軽に利用できる公園が欲しい。 防犯上、安全で安心して使える公園にして欲しい。
	今後の予測	余暇の拡大、価値観の多様化、及び生活習慣の変化に伴い、公園に対する区民の関わり方・要望などが多岐にわたることが見込まれる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: みどり・自然の確保、災害時及びレクリエーションのためのオープンスペースの確保など公園の存在価値は高いが、それ以上に多くの人に活用される公園づくりを進めることで、公園を活性化させる効果がある。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 区内の約300園ある公園を、魅力ある公園(コース)にするためには不十分である。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益の対象が不特定多数の区民であり、公園の整備は区の責務であるため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 植物と看板のみの最小の経費で、植付けスペース回りの整備まで実施しているのが現状で、コストを下げる余地は無い。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 区民が創る「みどりの都市」杉並を推進していくための手段として、区が率先して特色ある公園づくりを進めていく立場にあり、設計は区が行い、工事は委託している。また、児童館等に看板の作成や植樹に参加してもらっている。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 区民がより関われるようなプログラムを探り、実践する。そして、今後の管理運営についても引き続き関わっていくように誘導する。PRの方法、イベントの開催等を検討していく。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後の特色ある公園づくりにおいては、区民がより関われるようなプログラムを探り、実践する。そして、今後の管理運営についても引き続き関わっていくように誘導する。また、区民のこの事業に対する認知度が低いため、PRの方法、イベントの開催等を検討していく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 当初、区民が花、木の植付けなどに参加しても、その後継続して水やり、除草などに関わっていくことが難しい。区民が継続して参加できる方法を検討する必要がある。また、認知度を高めるために、数コースの整備が完了した段階でパンフレットの作成、イベントの開催などを検討する。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 特色ある公園づくりを区と区民の協働で推進し、積極的に区民が管理運営にまで関わるようになれば、公園に対する区民の愛着も高まる。そのことが地域のコミュニティの形成・向上につながるため、ますます推進していかなければならない。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公衆便所の維持管理				整理番号	650		枝番号			
担当部課名 都市整備部 公園緑地課		コード	221907		連絡先電話番号	3572		昨年度整理番号	671			
係名 管理係		上位施策名						No				
予算事業名 公衆便所維持管理		コード	64900		公園づくり		13					
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		28 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等									
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区公衆便所条例									
	区立公衆便所17所		(2) 地方自治法第2条第3項、第281条第2項									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 公衆便所の定期的な清掃、管理及び機能を保持するための維持補修を行う。		(3) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第2項									
活動指標名(式)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)										
(1) 公衆便所数		公衆便所を適切に維持管理し、安全で快適な利用と周辺地域の環境衛生保持を行う。										
(2) 定期清掃回数(年間延べ回数)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
		(1) (代)公衆便所のバリアフリー率 = バリアフリー化された便所数 ÷ 公衆便所数										
		(2)										
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		所	17	17	17	17	17	17	17	100.0	
	活動指標(2)		回	4,870	4,870	4,870	6,690	4,870	4,870	4,870	137.4	
	成果指標(1)		回	53	53	53	53	53	53	53	100.0	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	14,750	14,855	18,077	23,435	19,603	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 16年度、失業対策事業として、産業振興課から公衆便所清掃を執行委任として受ける。1820回、363千円(全額委託費)			
	(内)委託費		千円	11,477	10,978	12,011	14,672	10,940				
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.51 0.00	1.51 0.00	1.09 0.00	1.26 0.00	1.11 0.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	13,715	13,581	9,919	11,466	10,101				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	28,465	28,436	27,996	34,901	29,704				
	単位あたりコスト ÷		円	1,674,412	1,672,706	1,646,824	2,053,000	1,747,294				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0				0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	28,465	28,436	27,996	34,901	29,704					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	137.4	16年度予算執行率%	129.6	公衆便所設置状況や利用状況を勘案し、経費の投入に関しては、費用対効果を考慮しながら、予算執行を行っている。16年度、失業対策事業として、産業振興課から公衆便所清掃を執行委任として受けたため、便所清掃の回数を増加した。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		公衆便所設置状況や利用状況を勘案し、経費の投入に関しては、費用対効果を考慮しながら、予算執行を行っている。トイレのバリアフリー化については、予算の関係で進展がなかった。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	公衆便所箇所 昭和49年～現在 17箇所 公園便所箇所 昭和56年 126箇所 昭和60年 142箇所 平成元年 164箇所 平成5年 183箇所 平成12年～ 201箇所
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	「トイレが常に清潔で使いやすい状態であること」といった日常管理に関する要望が多い。また、高齢者、障害者など、身体機能に支障がある人を含め誰もが使いやすく安全な施設であることを望む声もある。
	今後の予測	公園便所の新設・改修によって、公衆便所の機能・役割は一定程度補完されていくことから、公衆便所単独の新設はないと思われる。今後は現在の施設の維持補修・バリアフリー化への対応が中心になっていく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 快適なまちを保持するため、また、まちの環境美化のため、公衆便所の存在は不可欠である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: 日常の維持管理及び必要最低限の修繕に対応する予算のみのため。 理由または具体的内容: バリアフリー化を含め使いやすい公衆トイレへ改修を進めるため、予算確保を含めた計画的な整備体制を敷く必要がある。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 誰もがいつでも気軽に利用できる公衆トイレの存在意義からして、トイレの有料化、トイレ紙の有料化は現時点で時期尚早と思われる。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現在の経費は、維持管理に必要な最低限の範囲となっているため。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 日常の維持管理(清掃業務)については、民間の業者に委託済みである。 理由または具体的内容: 公衆衛生に係る施策については、当面、行政が主体となって対応すべき分野と考える。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 行政が主体となり、実際の維持管理業務は業者等に委託するといった現在の枠組みを維持していく。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 バリアフリー化していない既設の8箇所について、今後計画的に改修していくことが求められる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 阻害要因) 緊縮財政下における事業予算の確保(1ヶ所当たり約1000万)。公園整備に比較し優先度が低くなっている公衆便所改修の政策上の位置(克服方法) 区の重点施策(地域開発計画、防犯強化地区計画等)がある場合で、当該地域内に未改修公衆便所がある場合は、策定の時点で総合的計画の一環として、公衆便所整備を計画の中に盛り込む。公園便所を兼ねている公衆便所については、位置付けを見直し公園改修計画の中に統合する。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	事業を取り巻く環境に、大きな変化が見られないことから。